

第1回 TRS サロンシリーズ 報告書

埴美里 サクソフォンが彩るクラシックの世界

つくばリサイタルシリーズ実行委員会

松浦海斗 船橋美月 児島夏美 広瀬実咲

1. つくばリサイタルシリーズ実行委員会について

つくばリサイタルシリーズ実行委員会は、つくば市においてプロの演奏家を招聘し、クラシックコンサートをプロデュースする筑波大学の学生団体である。つくばの学生および市民が経済的に大きな負担を伴わず、本物のクラシック音楽に触れる機会を提供することを目的としており、2021年で10周年を迎えた。通常プロの演奏を聴くためには、高額なチケットを購入する必要があるが、会場が東京などの大都市に限られていたりするため、クラシックに対して親しみにくい印象を抱く人も多い。その意識を変えるため、つくば市民にとって身近な場所で、手頃な価格でクラシックを楽しめることを目指した本シリーズの基本方針は、例年のアンケート結果を通じて来場された皆様からも高い評価を受けている。企業協賛やクラウドファンディングといった手段により資金を確保し、可能な限り低価格かつ高品質な演奏会を実現できている。

2. TRS サロンシリーズについて

TRS サロンシリーズは、既存シリーズ「つくばリサイタルシリーズ」と並行し、つくば市民や生徒・学生が気軽にクラシック音楽を楽しみ、その感動を共有することを目的とする。これまでに行ってきたリサイタルシリーズと異なり、規模を縮小し、こぢんまりとした音楽会で、日常では味わえないような特別な空間を創ることを目指す。筑波大学有志学生によるつくばリサイタルシリーズ実行委員会が企画立案・運営を行う。事業に携わる学生たちは、コンサート運営を通じて社会貢献事業を体験し、今後のキャリアに役立てることができる。

3. 事業の概要

事業名：第1回 TRS サロンシリーズ「埴美里 サクソフォンが彩るクラシックの世界」

実施日：2022年5月29日

場 所：つくば文化会館アルスホール

価 格：一般 1,500円 学生 500円（要申込）

出 演：埴美里（サクソフォン）、小山和（ピアノ伴奏）

曲 目：ヴィヴァルディ フルート協奏曲 作品10-2 “夜”

C.P.E.バッハ フルート協奏曲 ニ短調 第1楽章

シューマン ヴァイオリン・ソナタ 第1番

ドヴォルザーク ロマンティックな小品

グリーグ ヴァイオリン・ソナタ 第2番
江藤光紀 アルト・サクソフォンのための新作

4. 当日の様子



リハーサル



演奏

5. 活動の達成度

① 広報活動

今回のコンサートは座席が 80 席と少なかったが、開催の発表が一ヶ月前となり、宣伝期間が短かった。そのため、短期間での集中的な集客を行う必要があった。そのため、SNS アカウントのフォロワー数を増やすことよりも、過去の演奏会に来場して頂いた方など、現状のフォロワーに演奏会の内容をアピールすることを重視し、演奏会自体は小規模だがブログコンテンツを通常シリーズと同様に充実させた。また、コンサートに興味のない地域の人にも情報が行き届くように、Facebook のグループ機能を活用し、SNS 上の地域コミュニティにも投稿した。

課題としては、つくばリサイタルシリーズ実行委員会自体の学内知名度の低さを感じている。次回の通常シリーズの広報に当たっては、学内や県内のコミュニティセンター、近隣学校だけでなく、居酒屋などの飲食店にポスター設置を依頼するのも手ではないかと考えている。

② 予算・運営面

今回は初めてサロンシリーズを立ち上げ、値段設定も一般 1500 円、学生 500 円という新たな試みで行った。結果的に、当日券の販売はなしで、全てチケットを売り切ることができた。当日の受付をしていた感覚としては、学生券は家族できている方の子供の分であることもあったため、大学生は思っていたより少なかったような印象を受けた。また、今回は学生

無料という従来の料金設定から変更した効果か当日の空席は目立たなかったように思われる。

チケットは前回に引き続き teket の販売サイトでのチケット販売であった。紙チケットを作成しノバホールに 5 枚置いたものの、販売はなかったため teket の残数が少なくなったタイミングで取り下げた。teket では大きな問題が起こることなく、当日の受付もスムーズに対応できていたと感じる。しかし、今回アルスホールという場所であったため、受付後に下の階に降りる方や一度受付して後から来る方を会場外で待つ方もいらっしまった。受付した人かどうかのわかりにくいという課題が見えた。

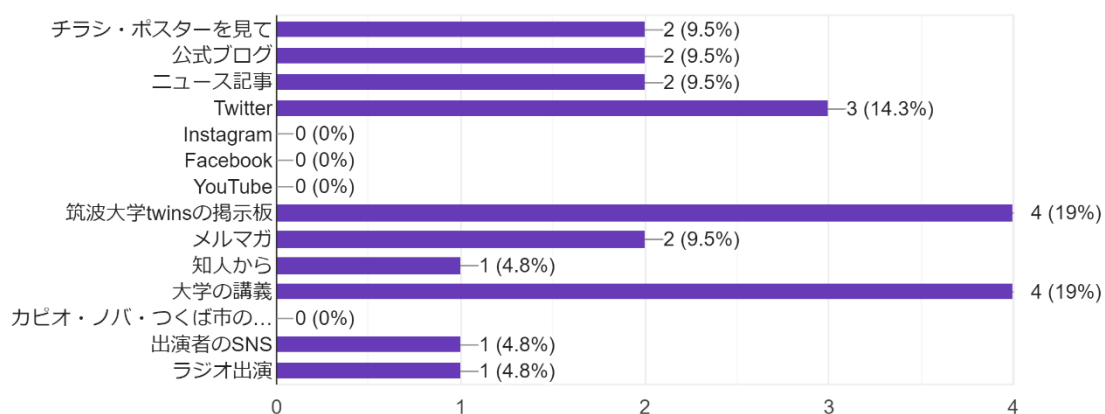
今回は筑波大学の社会貢献プロジェクトに申請したが、不採択になってしまった。この要因として開催月の都合上学生の申請では予算の適用ができず、教員枠として申し込んだことで、応募が集中し予算の獲得ができなかった可能性が考えられる。また、クラウドファンディングは行わなかった。結果として助成金を一切獲得できなかったため、クラウドファンディングとどのように両立して予算を確保すべきかは今後の課題である。一方で、当日ご来場くださった一部の方からは寄付の希望をいただくことができたので、少人数での贅沢な演奏会、という今回の新たなアプローチでの演奏会を概ね満足していただけたのではないかと考える。前回よりは収支差は少なくなったので、次回の第 12 回つばりサイタルシリーズでは、今回の経験を踏まえ、また広告など収入面での行動も広げていければ良いと考えている。

③ アンケート分析

Q1.今回の演奏会をどのように知りましたか。(複数回答可)

※「その他」の方は、具体的な媒体を回答いただけますと幸いです。

21 件の回答

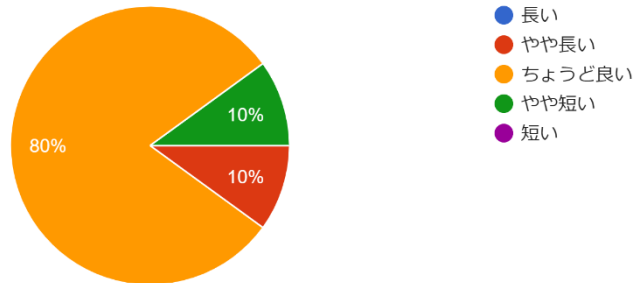


全体を見て、学生の多くは twins の掲示板と大学の講義から知ったという結果が得られたが、Instagram、Facebook、Youtube の主要な SNS が宣伝としてうまく機能できなかったのが気になる。

これからは Twitter などの SNS をどのように活用していくかが課題となっていると考える。

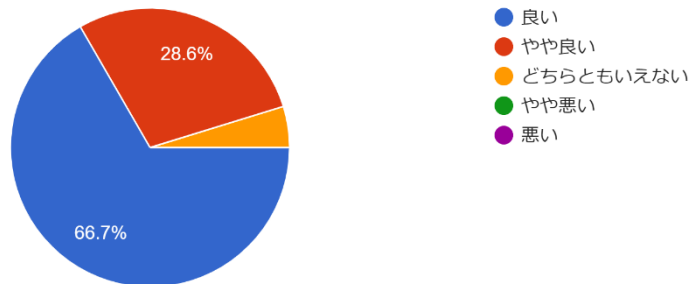
Q2-1.演奏会の長さはいかがでしたか。

20件の回答



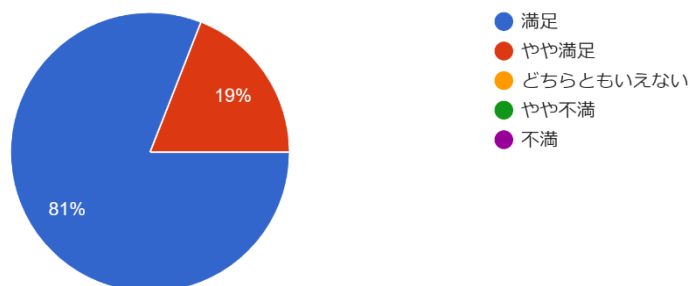
Q2-2.演奏会の進行はいかがでしたか。

21件の回答



Q3.演奏会の全体的な満足度をお教えてください。

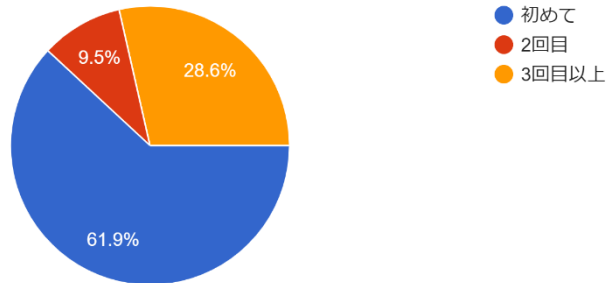
21件の回答



Q2-2～Q3より、進行に関しては概ね満足されているように推察できる。演奏会の長さが「長い」という結果がなかったことは、プログラムを意図的に削った結果が出たと考えられる。アンケートでのコメントを見ると演奏会で出演された埴さんと小山さんの演奏技術、人柄が評価されているように感じられる。

Q4.これまでつくばリサイクルシリーズにご来場されたことはありますか。

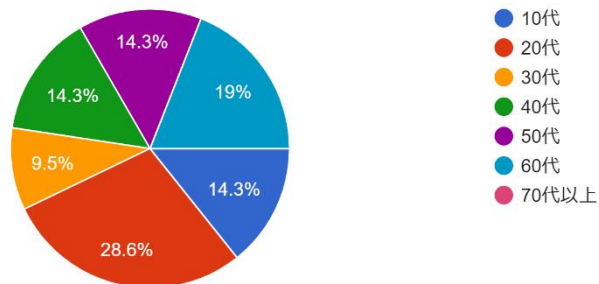
21件の回答



はじめてと回答されたのが全体の 61.9%であり、3 回目以上のリピーターは全体の 28.6%であった。第 11 回のリサイクルでは 2 回目と 3 回目の合計が 25%(2 回目：17.5%、3 回目 7.5%)であり、今回は前回よりもリピーターが増えた。リピーターが増えてきていることは、つくばリサイクルシリーズのコンテンツに満足いただけたからだと考えている。これからもまた鑑賞しに行きたいと思えるようなりサイクルの企画をしていきたいと考える。

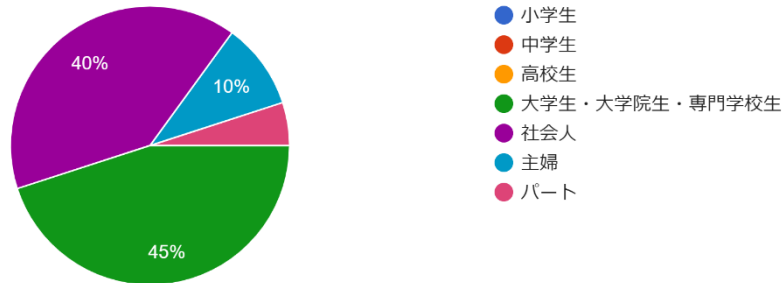
Q8.ご年齢

21件の回答



Q9.ご職業

20 件の回答



グラフから、幅広い層からご参加されており、幅広い年齢層からこのリサイクルが注目されていることが分かった。年齢層では特に 10 代、20 代からの参加が多く、10,20 代と回答された方のご職業を見るとすべて学生であった。

6. 総評

今回は本団体の活動として初となる別シリーズの開催となったが、特に大きな問題なく終わることができた。委員は約半数が運営未経験であった上、準備期間が非常に短い中での実施となったが、規模が小さかったこともあり、運営における混乱も生じなかった。今回の演奏会では楽器の編成によって雰囲気づくり・音響等の観点からアルス・カピオを使い分けるとの意義がわかり、サロンシリーズの主旨に適したコンサートが実現できたと感じる。

しかし、予算が十分に確保できなかった点、広報の連携不足、未就学児・小学生への対応等、改善すべき点は随所に散見された。これらの問題点は次回リサイクルシリーズ、およびサロンシリーズで改善に取り組む必要があると考えている。